



4K UltraHD 4x1 Switcher for HDMI w/HDR

4K UHD 対応 4 × 1 HDMI 切替機

型番 : EXT-UHD600-41

取扱説明書



■安全上の注意

この度は Gefen 製品をお買いあげいただき、ありがとうございます。機器のセッティングを行う前に、この取扱説明書を十分にお読みください。この説明書には取り扱い上の注意や、購入された製品を最適にお使いいただくための手順が記載されています。長らくご愛用いただくため、製品のパッケージと取扱説明書を保存してください。

●注意事項は危険や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った扱いをすると生じることが想定される内容を次の定義のように「警告」「注意」の二つに区分しています。



警告 この表示内容を無視して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

- ・必ず付属の電源アダプター、電源ケーブルを使用してください。これ以外の物を使用すると火災の原因となり大変危険です。また、付属の電源アダプター、電源ケーブルを他の製品で使用しないでください。
- ・AC100V、50Hz/60Hz の電源で使用してください。異なる電源で使用すると火災や感電の原因となります。
- ・分解や改造は行わないでください。分解や改造は保証期間内でも保証の対象外となるばかりでなく、火災や感電の原因となり危険です。
- ・雷が鳴り出したら、金属部分や電源プラグには触れないでください。感電する恐れがあります。
- ・煙が出る、異臭がする、水や異物が入った、本体や電源ケーブル・プラグが破損した等の異常があるときは、ただちに電源を切って電源プラグをコンセントから抜き、修理を依頼してください。異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。



注意 この表示内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。

- ・万一、落としたり破損が生じた場合は、そのまま使用せずに修理を依頼してください。そのまま使用すると、火災の原因となることがあります。
- ・以下のような場所には設置しないでください。
直射日光の当たる場所 / 極度の低温または高温の場所 / 湿気の多い場所 / ほこりの多い場所 / 振動の多い場所 / 風通しの悪い場所
- ・配線は電源を切ってから行ってください。電源を入れたまま配線すると、感電する恐れがあります。また、誤配線によるショート等は火災の原因となります。
- ・ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。
- ・廃棄は専門業者に依頼してください。燃やすと化学物質などで健康を損ねたり火災などの原因となります。

■使用上の注意

- ・本機は Gefen アプリケーション Syner-G ソフトウェアに対応します。Syner-G ソフトウェアを使用してファームウェアの自動ダウンロードとインストールできるため、常に最新の状態で製品をご使用いただけます。Gefen ホームページ (<http://www.gefen.com/synerg/>) から無料でダウンロード可能です。
- ・本機は Gefen アプリケーション Syner-G ソフトウェアスイート (バージョン 2.1.x 以降) に対応します。Gefen ホームページ (<http://www.gefen.com/synerg/>) から無料でダウンロード可能です。
- ・600MHz の HDMI 信号を使用する際は、必ず HDMI2.0 規格に対応した HDMI ケーブルをご使用ください。



This product uses UL-listed power supplies



目次

■安全上の注意	2	●タブとサブタブ	6
■使用上の注意	2	●ボタン	6
■修理品発送時のお願い	2	●切替	7
■目次	3	●入力と出力ステータス	7
■製品の特長	3	●入力と出力の名称変更	7
■梱包内容の確認	3	●HPDコントロール	7
■各部の名称と機能	3	●HDCP	8
		●アイコンの選択	8
はじめに	4	●EDIDモードの設定	8
■各部の名称と機能	4	●カスタムEDID	9
●フロントパネル	4	●EDIDのコピー	9
●リアパネル	4	●EDID情報の確認	9
■IRリモコン	4	●EDIDデータのアップロードとダウンロード	10
●各部の名称と機能	4	●ネットワーク構成の設定	10
●準備	4	●システム設定	12
●IRチャンネルの設定	5		
■接続方法	5	高度な操作	
		■Telnet, UDP, RS-232	14
基本操作		●Telnetの構成	14
■入力切替	5	●UDPの構成	14
●本体ボタン操作	5	●RS-232の構成	14
●IRリモコン操作	5	■コマンド	15
■ウェブインターフェイス	6		
●ログイン	6	付録	
●AdministratorとOperator	6	■仕様	20

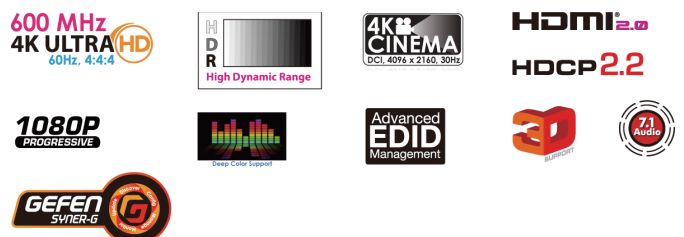
製品の特長

- 4 系統の UHD ソースを切替えて表示機器へ送出することが可能
- 主な対応解像：4K DCI-Cinema(4096 × 2160@60Hz 4:4:4)、4K Ultra HD(3860 × 2160@60Hz 4:4:4)、1080 p、1920x1200
- HDR(High Dynamic Range) 10bit 4:4:4 対応
- 1080p 12bit 4:4:4 対応
- 3DTV パススルー、Lip Sync パススルー
- EDID マネージメントとオーディオモードセレクター機能でソース機器と表示機器の迅速な確立を実現
- LPCM 7.1, Dolby Atmos®, Dolby® TrueHD, DTS:X™, and DTS-HD Master Audio™ のオーディオフォーマットに対応
- DVI フォーマット対応
- 自動切替機能
- 誤操作を防止するロック機能
- 内蔵ウェブブラウザを利用して IP コントロール、UDP でのコントロールが可能
- IR リモコン操作
- Syner-G ソフトウェアに対応
- HDMI 出力は 5V 500 m A の電源供給可能
- 電源アダプターはロック式端子を採用

梱包内容の確認

万が一足りないものがありましたら、購入された販売店までご連絡ください。

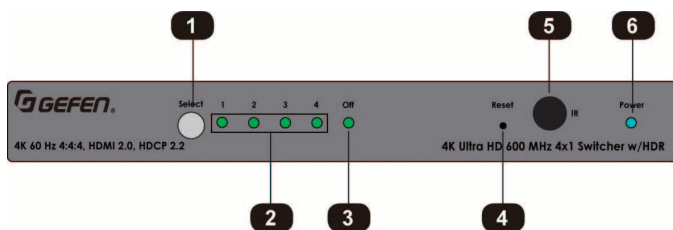
- ・ 本体 × 1
- ・ IR 延長機 (EXT-RMT-EXTIRN) × 1
- ・ IR リモコン × 1
- ・ マウント用 L 型金具 × 2
- ・ L 型金具固定用ネジ (M3, 6mm) × 4
- ・ Gefen 専用ラックトレイ固定ネジ (6-32, 5mm) × 2
- ・ 電源アダプター × 1
- ・ ゴム足 × 4



はじめに

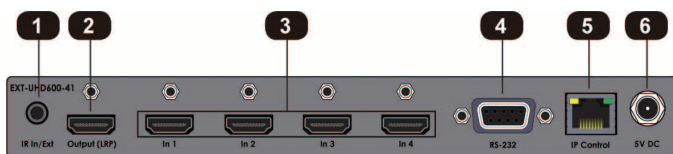
■各部の名称と機能

●フロントパネル



① Select	入力ソースを順送りで切り替えます。
②入力インジケータ (1 ~ 4)	選択されている入力の番号が緑色に点灯します。選択されている入力に接続されているソース機器の電源が入っていない場合などにはアンバー色の点灯になります。
③ Off	このLEDインジケータが緑色に点灯している場合に出力をしていません。
④ Reset	ファクトリーリセットをします。実行するには3秒間長押しをします。
⑤ IR	IR受光部
⑥ Power	本体へ電力が供給されると青色に点灯します。

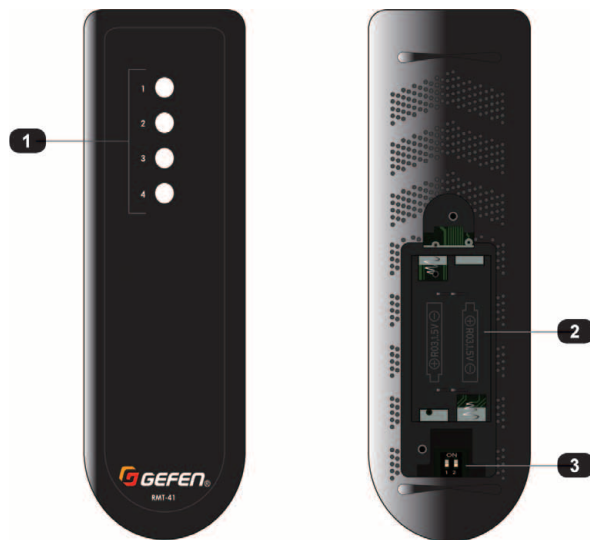
●リアパネル



① IR In/Ext	IR延長受光部 (EXT-RMT-EXTIRN) もしくはオートメーションシステムからのIRケーブルを接続します。
② Output	表示機器などへ接続します。
③ In1 ~ In4	ソース機器と接続します。
④ RS-232	RS-232 機器と接続します。(詳しくは14ページを参照してください)
⑤ IP	IPコントロール機器と接続します。(詳しくは14ページを参照してください)
⑥ 5V DC	付属の電源アダプターを接続します。

■ IR リモコン

●各部の名称と機能



①切替ボタン	1 ~ 4 のボタンを押して切替をします。1 ~ 4 はそれぞれ本体の入力端子の番号を表しています。
②電池ボックス	単4電池(1.5V AAA)を2本使用します。
③ DIP スイッチ	IRリモコンのチャンネル設定を行います。(詳しくは13ページを参照してください。)

●準備

- ①電池ボックスのカバーを外します。
- ②単4電池を下記図のように取り付けます。



- ③カバーを戻します。

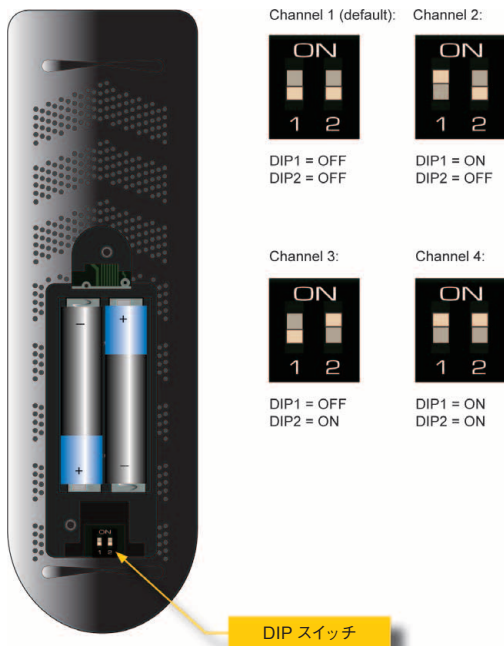
! 誤った電池を使用数すると爆発などの危険があります。使い終わった電池は自治体などの定めるルールにしたがって処分してください。

● IR チャンネルの設定

IR リモコンを使用した際に他の機器に影響をおよぼす場合や他の IR リモコンを使用した際に本機が誤動作してしまう場合に IR チャンネルを変更してください。

DIP スイッチの組み合わせによって IR チャンネルを設定することができます。

また、IR リモコンの IR チャンネルを変更した場合には、本体の IR チャンネルも同一のチャンネルに設定する必要があります。本体の IR チャンネルの変更方法は 13 ページを参照してください。



■ 接続方法

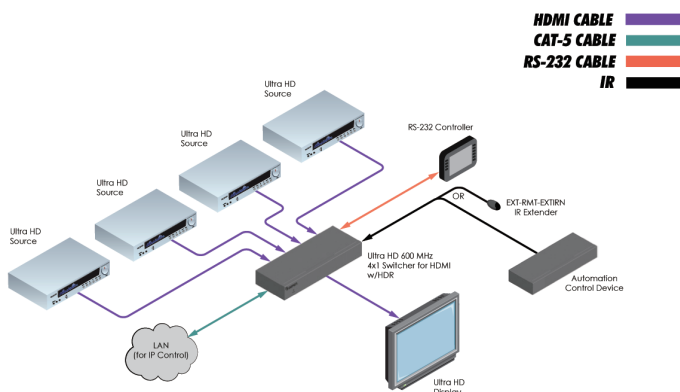
① 4 台のソース機器と本機の入力端子 (In1 ~ In4) を HDMI ケーブルで接続します。

② 出力端子とご使用になる機器やシステム環境に合わせて接続してください。

- ・ディスプレイやプロジェクターなどの表示機器
- ・GEFEN EXT-UHD600 シリーズのスイッチャーやスプリッター

! 600MHz の HDMI 信号を使用する際は、必ず HDMI2.0 規格に対応した HDMI ケーブルをご使用ください。

③ 付属の電源アダプターを接続し、電源を投入します。



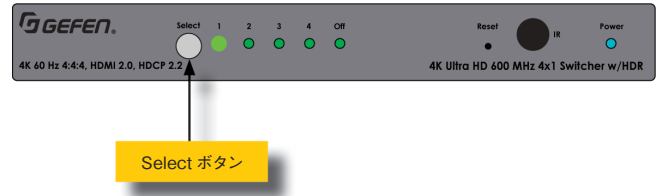
基本操作

■ 入力切替

● 本体ボタン操作

本体前面にある Select ボタンで入力を切り替えることができます。LED インジケーターの 1 ~ 4 の番号は入力端子番号を表しています。

① 初めて電源を入れた際は、入力 1 が選択されています。



② Select ボタンを押すと次の入力に切り替わります。任意の入力まで操作を行ってください。



③ 入力 4 を選択している場合、Select を押すと Off になります。



● IR リモコン操作

付属の IR リモコンを使用して入力を切り替えることができます。

① 初めて電源を入れた際は、入力 1 が選択されています。

② 本体前面の IR 受光部に向けて IR リモコンを操作します。

③ IR リモコンの 1 ~ 4 は、入力端子番号を表しています。

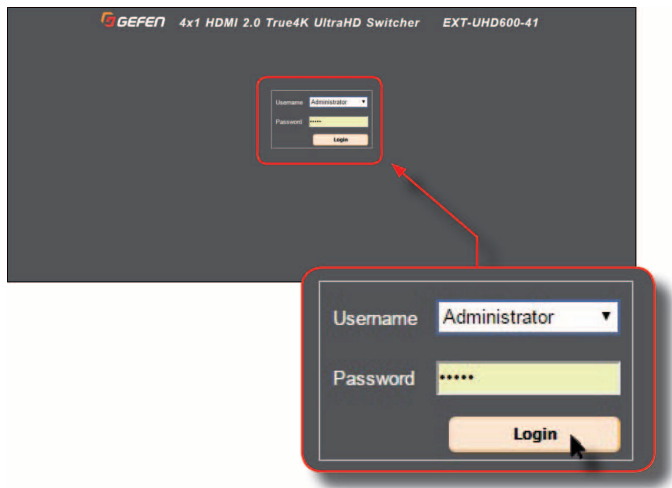


■ウェブインターフェイス

本機はウェブインターフェイスを内蔵しており、様々な設定を行うことができます。

●ログイン

- ① 任意のウェブブラウザを開いてください。
- ② アドレスバーへ本機の IP アドレスを入力してください。
- ③ ログインページが開きます。
- ④ ドロップダウンリストより、ログインするユーザー名を選んでください。



・Operator

Operatorでは、切替操作とステータスを操作することができます。

デフォルトパスワード：Operator

パスワードを変更するには、11 ページを参照してください。

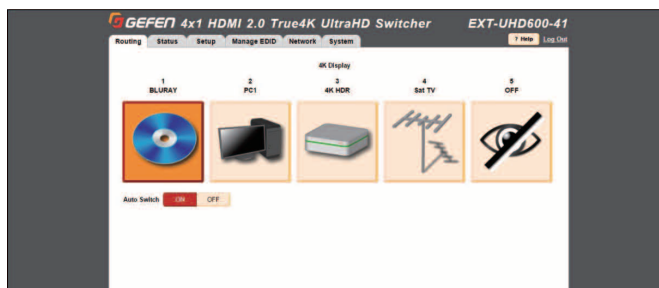
・Administrator

Administratorでは、すべての操作・設定を行うことができます。

デフォルトパスワード：Admin

パスワードを変更するには、11 ページを参照してください。

- ⑤ ユーザー名に合わせたパスワードを入力してください。
- ⑥ Login をクリックしてください。
- ⑦ 下記のルーティングタブが表示されます。



● Administrator と Operator

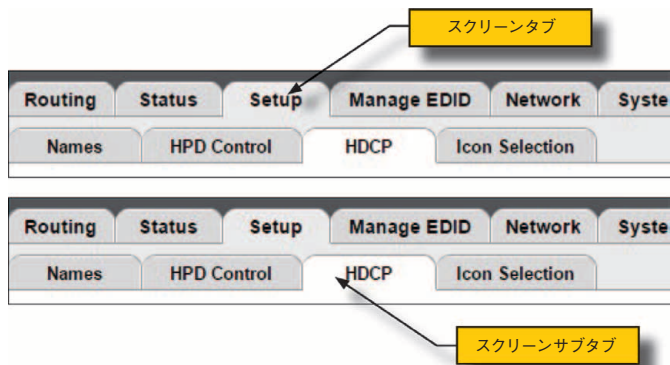
Administrator と Operatorでは、操作の範囲に下記の違いがあります。

- ・Administrator: すべてのタブの操作を実行可能。
- ・Operator: ルーティングタブとステータスタブの操作のみ実行可能。
ルーティングタブの Auto Switch にはアクセス不可。

●タブとサブタブ

操作画面は様々なタブで構成されています。それぞれのタブをクリックすることで切替えを行うことができます。

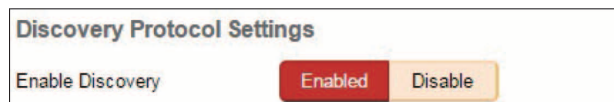
Setup と Manage EDID には、サブタブがあります。



●ボタン

項目によっては特定のモードの選択するものがあり、希望する設定をクリックしてください。選択されている設定は赤くハイライトし、選択されていない場合は淡黄色で表示されます。

・選択している例：

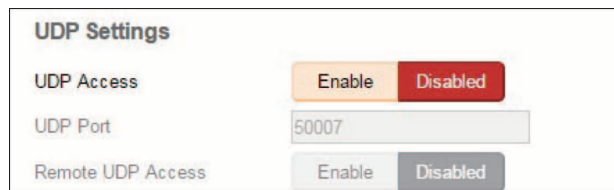


・選択されていない例：



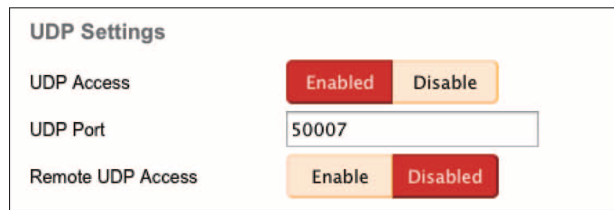
もし、ボタン表示がグレーの場合は、現在の設定ではその項目は操作することができません。

例えば下記図のように Remote UDP Access と UDP Port がグレーで表示されています。



UDP Access の設定を Enable に変更する必要があります。

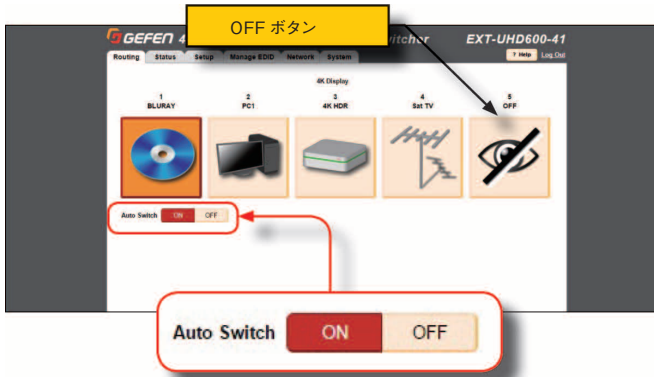
Enable ボタンをクリックすると、ボタンの Enable が赤くハイライトされ、Remote UDP Access と UDP Port の設定が行えるようになります。



●切替

Routing タブは、ウェブインターフェイスへログインした際にはじめに表示されます。

- ①切替を実行するアイコンをクリックしてください。クリックされたアイコンはオレンジ色にハイライトします。オレンジ色にハイライトしているアイコンが現在選ばれている入力を表しています。
- ② OFF ボタンを押すと切替機の出力を止めることができます。

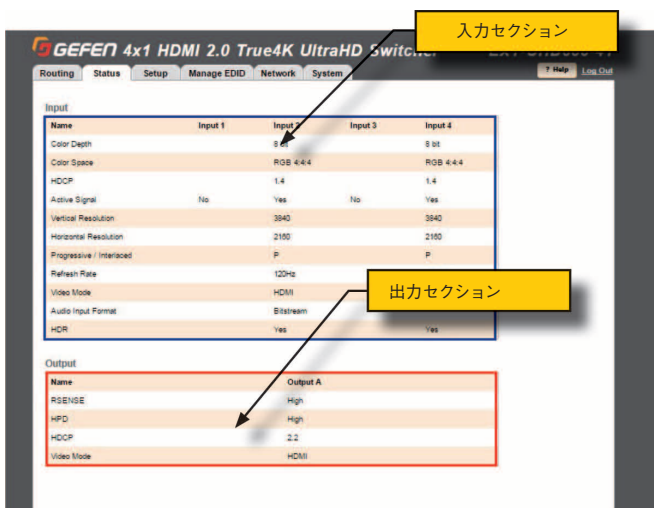


- ③Auto Switch 機能は出荷時には ON に設定されています。ON 設定時には Hot-plug-detect を検出した入力へ自動的に切替わります。
- ④アイコンの変更を行うことができます。8 ページを参照してください。

●入力と出力ステータス

Status タブでは、すべての入力と出力の情報を確認することができます。

- ①ウェブインターフェイスの Status タブをクリックします。
- ②ウェブインターフェイスの画面の上部にはそれぞれの入力の情報が表示されます。
- ③ウェブインターフェイスの画面の下部にはそれぞれの出力の情報が表示されます。



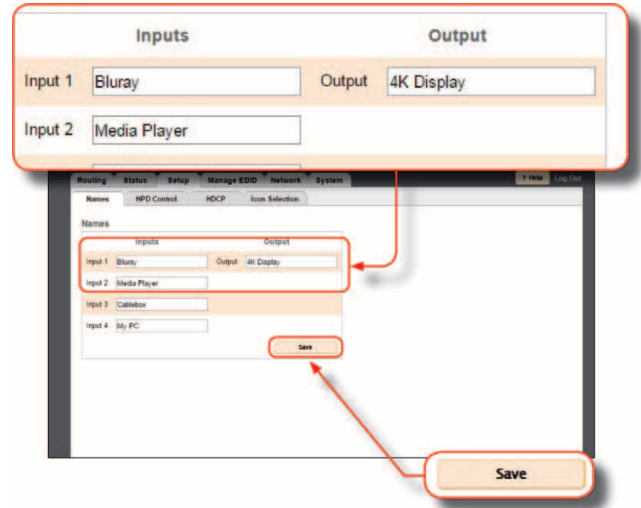
下記の情報の項目を確認することができます。

入力	出力
• Color depth	• Rsense
• Color space	• HDP
• HDCP	• HDCP
• Active Signal	• Video mode
• Vertical resolution	• HDR
• Horizontal Resolution	
• Progressive / interlaced	
• Refresh rate	
• Audio Input	

●入力と出力の名称変更

出荷時は、出力には Output、入力にもそれぞれ名称が設定されています。使用環境に合わせて、それぞれの名称を変更することができます。

- ①ウェブインターフェイスの Setup タブをクリックします。
- ②サブタブの Names をクリックします。
- ③変更する項目のフィールドへ名称を入力します。



- ④変更が終了したら、Save をクリックします。
- ⑤Routing タブに変更した名称が表示されます。

●HPD コントロール

Hot-plug-detect (HPD) は、ソースからシンク機器へ送られる +5V 信号で、HDMI ケーブルが使用されます。シンク機器は信号を受け取った後、+5V HPD をソースへ送り返します。HPD は、ソース機器とシンク機器のコミュニケーションを開始するために使用されます。ウェブインターフェイスには、任意の入力の HPD パルスを手動でソースへ送り出すことができる機能があります。

- ①ウェブインターフェイスの Setup タブをクリックします。
- ②サブタブの HPD Control をクリックします。
- ③任意の入力の Pulse ボタンをクリックします。Pulse All Inputs をクリックするとすべての入力から HPD 信号を送り出すことができます。

● HDCP

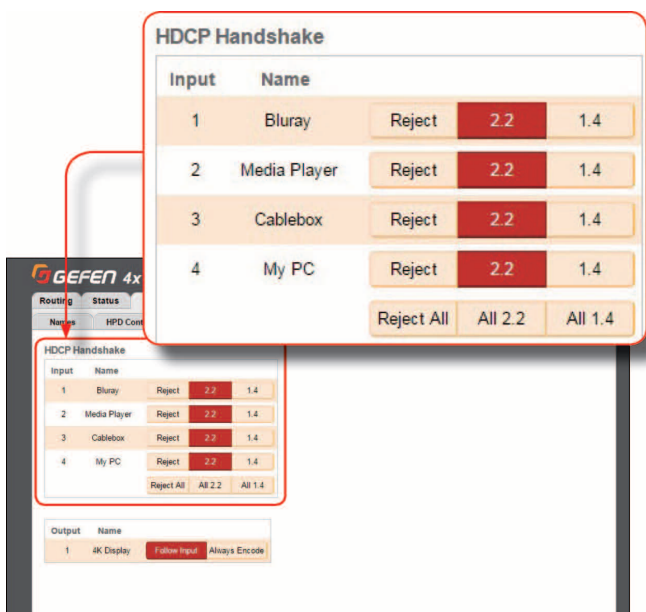
この機能は HDCP コンテンツをパススルーするかそれぞれの入力をリジェクト (拒否) するかを設定することができます。Reject に設定すると HDCP のエンコードは行われなくなります。

- ① ウェブインターフェイスの Setup タブをクリックします。
- ② サブタブの HDCP をクリックします。
- ③ それぞれの入力に対して設定を行います。

▼ **Reject** – HDCP コンテンツのパススルーをしません。
Reject All はすべての入りに Reject を反映します。

▼ **2.2** – シンク機器が HDCP2.2 に対応している場合に使用します。
All 2.2 はすべての入りに 2.2 を反映します。

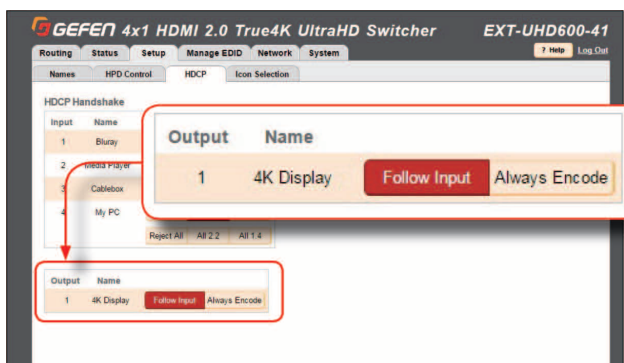
▼ **1.4** – シンク機器が HDCP1.4 に対応している場合に使用します。
All 1.4 はすべての入りに 1.4 を反映します。



- ④ Follow Input または Always Encode の選択し出力の設定を行います。

▼ **Follow Input**- 入力の設定内容に従います。

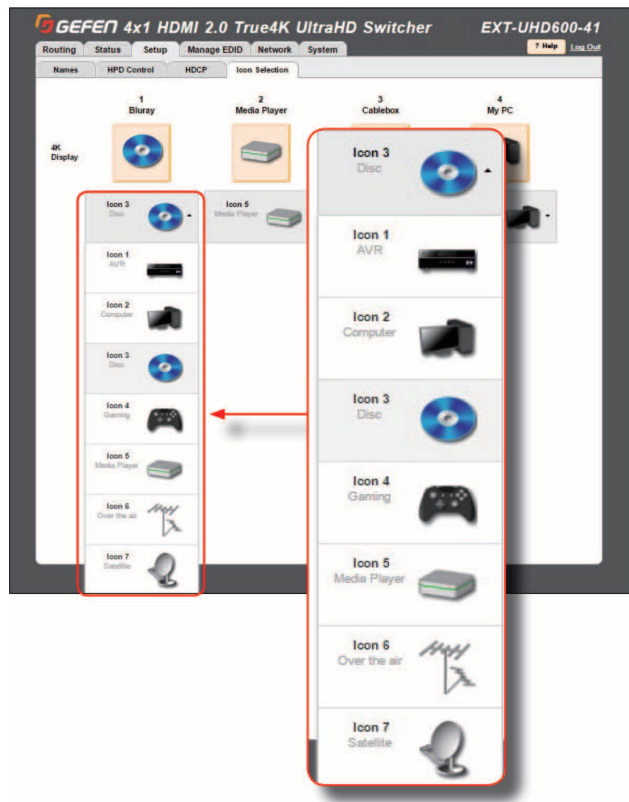
▼ **Always Encode**- 入力された信号に関係なく HDCP で出力信号をコード化します。HDCP- エンコードされたコンテンツを必要とするディスプレイの場合この機能を使用してください。



● アイコンの選択

Icon Selection では、使用状況に合わせてソース機器のアイコンを変更することができます。

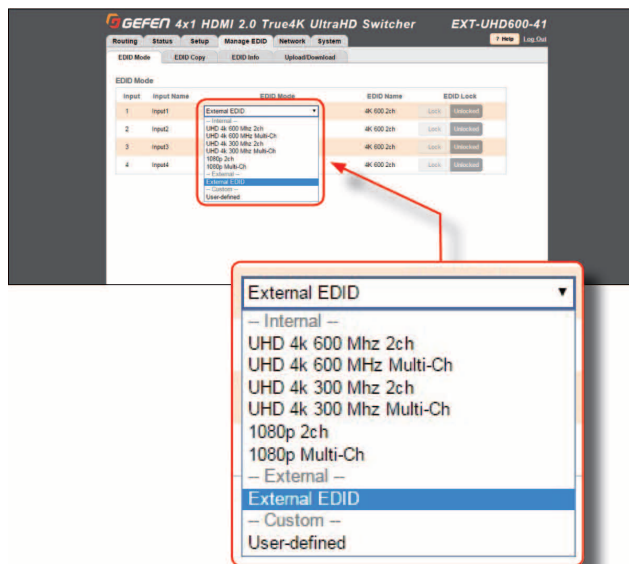
- ① ウェブインターフェイスの Setup タブをクリックします。
- ② サブタブの Icon Selection タブをクリックします。
- ③ アイコンの隣に表示されている▲をクリックし、変更するアイコンを選択してください。



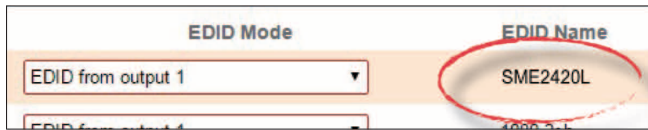
● EDID モードの設定

EDID モードでは、それぞれの入力へ EDID の設定を行うことができます。

- ① ウェブインターフェイスの Manage EDID タブをクリックします。
- ② サブタブの EDID Mode タブをクリックします。
- ③ ドロップダウンリストより、任意の EDID を選択してください。



EDID モードで External を選択した場合、EDID Name には接続されている表示機器などの名称が表示されます。



●カスタム EDID

User-defined では、Custom EDID に保存された EDID を入力に反映することができます。

① EDID Mode のドロップダウンリストより User-defined を選択します。

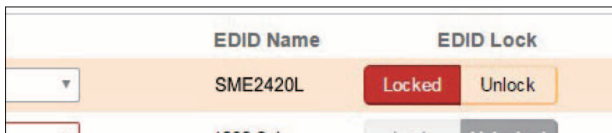
1	Bluray	User-defined
2	Media Player	EDID from output 1
3	Cablebox	EDID from output 1

② コピーまたはアップロードをして反映させます。

③ EDID Lock を設定します。

▼ Lock- ソース機器などを変更しても設定した EDID は保持されます。

▼ Unlock-EDID は変更されます。



④ Custom EDID の名前は EDID Name に表示されます。

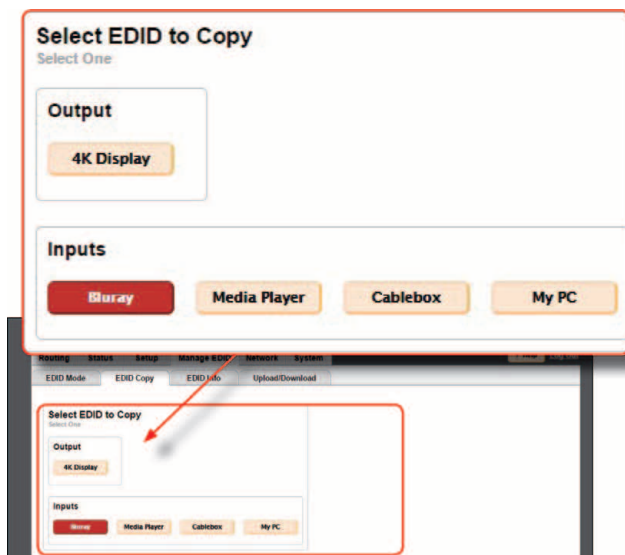
● EDID のコピー

EDID Copy タブは、EDID が入力または出力（シンク機器）からそれぞれの入力コピーすることが可能です。EDID Copy を実行するには、User-defined と Unlock が設定されている必要があります。

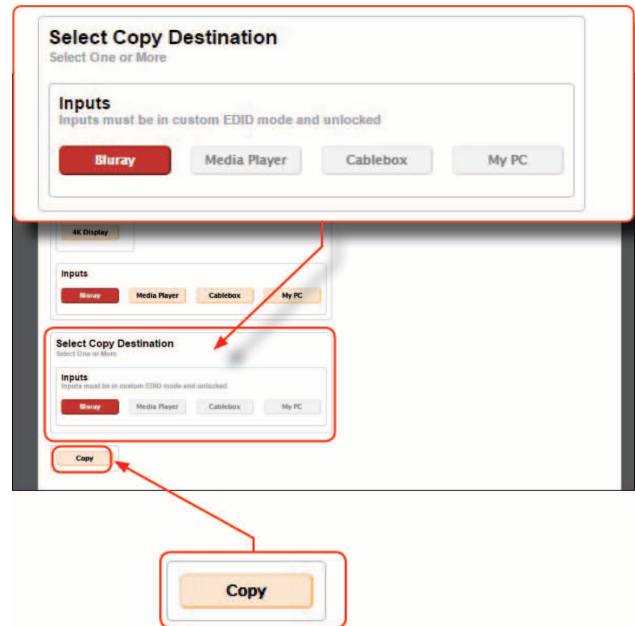
① ウェブインターフェースの Manage EDID タブをクリックします。

② サブタブの EDID Copy をクリックします。

③ Select EDID to Copy に表示されている Output または Inputs よりコピーを実行する項目をクリックしてください。複数を同時に選ぶことはできません。



④ 続いて、Select Copy Destination より EDID をコピーする入力を選択してください。複数を同時に選択することができます。



⑤ Copy をクリックしてください。

⑥ 未設定がある場合 3 ~ 5 の操作を繰り返します。

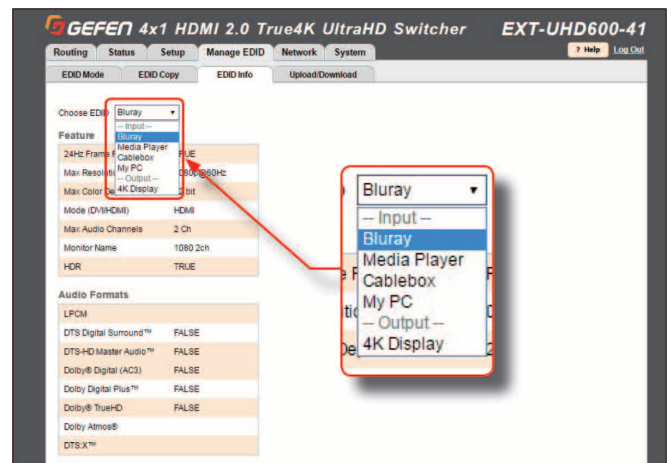
● EDID 情報の確認

EDID Info では、接続されている機器の EDID 情報を確認することができます。

① ウェブインターフェースの Manage EDID タブをクリックします。

② サブタブの EDID Info をクリックします。

③ Choose EDID のドロップダウンリストより選択します。



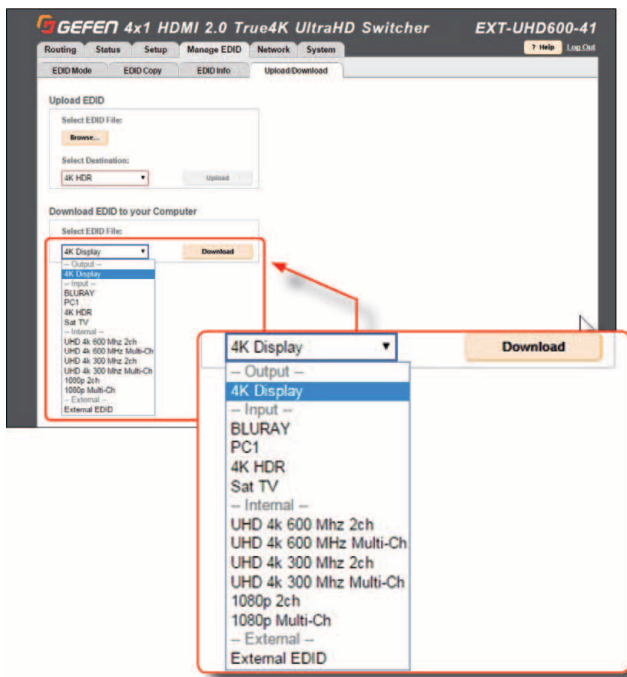
④ 選んだ入出力の情報が表示されます。

● EDID データのアップロードとダウンロード

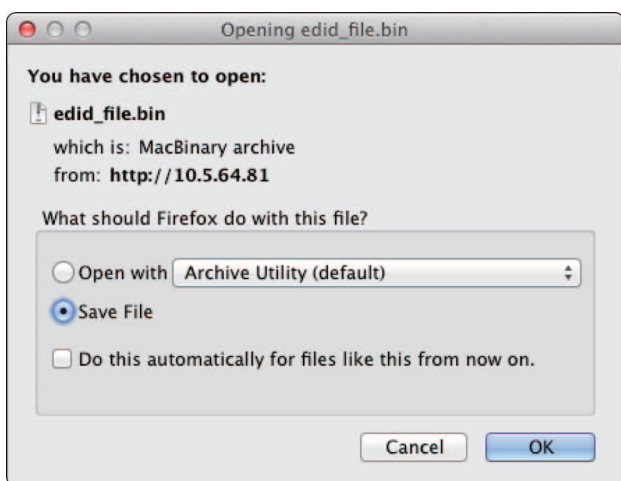
アップロード/ダウンロードタブは、コンピューターのファイルとしてダウンロード・保存します。インプット、アウトプット、または内蔵 EDID プリセットのうちの1つから行うことができます。

▼ EDID のダウンロード

- ① ウェブインターフェイスの Manage EDID タブをクリックします。
- ② サブタブの Upload/Download をクリックします。
- ③ Download EDID to your Computer の Select EDID File のドロップダウンリストから、ダウンロードを行いたい接続を選びます。
- ④ Download をクリックします。

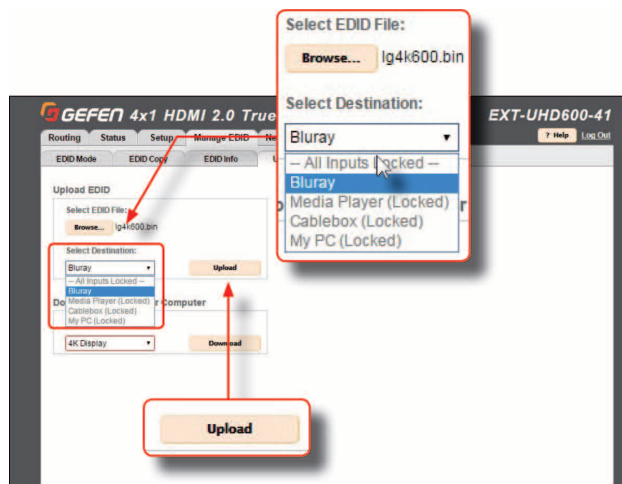


- ⑤ コンピューターにより確認のダイアログが表示された場合は OK を押してください。



▼ EDID のアップロード

- ① ウェブインターフェイスの Manage EDID タブをクリックします。
- ② サブタブの EDID Copy をクリックします。
- ③ Browse ボタンをクリックします。
- ④ コンピューターからアップロードする EDID ファイルを指定し、OK を押します。
- ⑤ Select Destination のドロップダウンリストから、EDID を反映させる入力を選びます。
- ⑥ Upload ボタンをクリックします。



● ネットワーク構成の設定

IP アドレスの設定などネットワーク構成を行います。

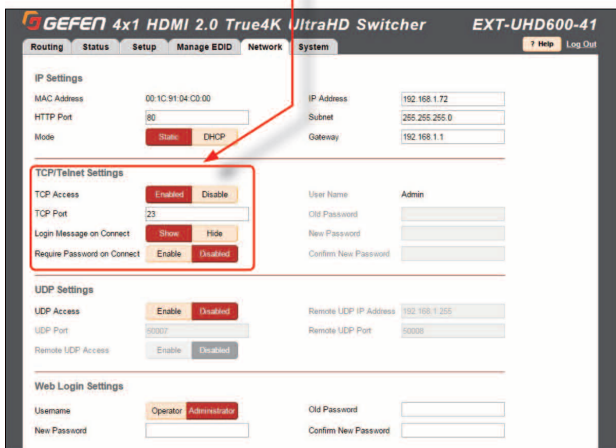
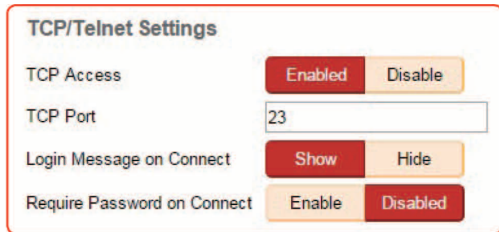
▼ IP アドレスの設定

- ① Network タブを開きます。
- ② Static または DHCP を選択します。
- ③ Static の場合は、IP アドレス、Subnet、Gateway を入力します。
- ④ HTTP を入力します。

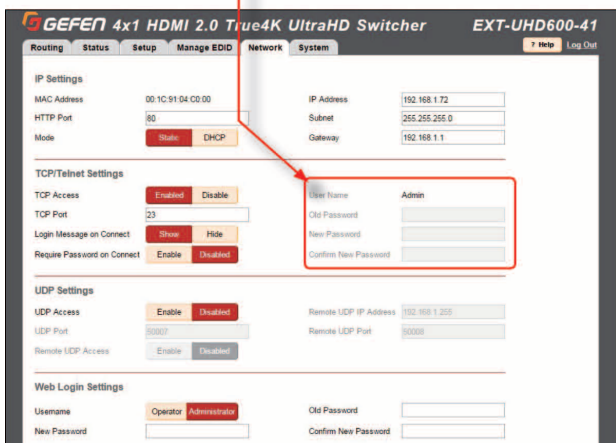
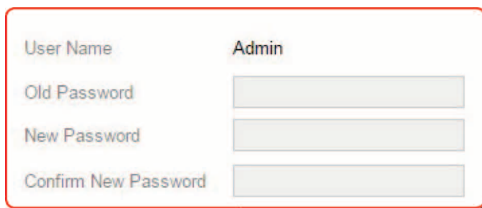


▼TCP/Telnet の設定

- **TCP Access** : Telnet でのアクセスを許可する場合には Enable をクリックしてください。
- **TCP Port** : ポート番号を入力します。
- **Login Message** : Telnet セッションの開始時にメッセージを表示する場合には Show を設定してください。表示しない場合は Hid を設定してください。
- **Require Password on Connect** : Telnet セッションの開始時にパスワードを要求する場合には Enable を設定してください。

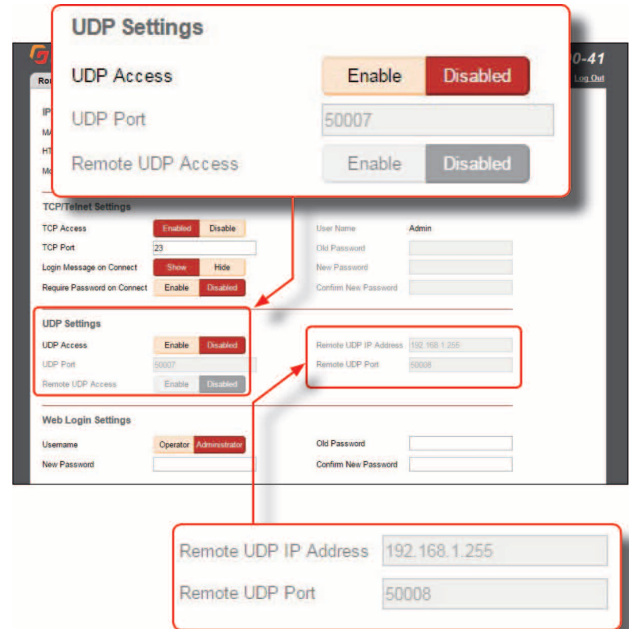


- **User Name** : この項目は変更できません。
- **Old Password** : 現在有効なパスワードを入力します。出荷時は Admin に設定されています。
- **New Password** : 変更する新しいパスワードを入力します。
- **Confirm New Password** : 変更する新しいパスワードを再度入力します。



▼UDP の設定

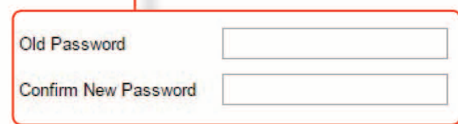
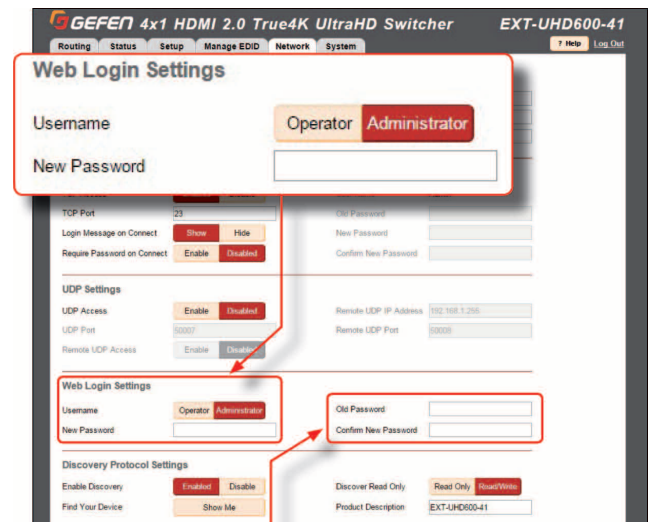
- **UDP Access** : UDP アクセスを許可する場合には Enable をクリックしてください。
- **UDP Port** : UDP ポートの番号を入力します。
- **Remote UDP Access** : UDP リモートアクセスを許可する場合には Enable を設定してください。



- **Remote UDP IP Address** : UDP IP アドレスを入力してください。
- **Remote UDP Port** : UDP ポート番号を入力して下さい。

▼ログイン設定

- **User Name** : Administrator と Operator のログインの際のパスワードを変更します。変更するいずれかをクリックしてください。
- **New Password** : 変更するパスワードを入力してください。
- **Old Password** : 現在有効なパスワードを入力します。
- **Confirm New Password** : 変更する新しいパスワードを再度入力します。出荷時は、「Administrator : Admin」「Operator : Operator」に設定されています。



▼ Discovery 設定

ディスカバリーは、複数の切替機を同一箇所で使用している場合に、Syner-G ソフトウェアを使用して任意の 1 台を見つけることができる機能です。

・ **Enable Discovery** : ディスカバリーを有効にするには Enable に設定してください。

・ **Find Your Device** : Show Me をクリックすると本体前面の LED1 ~ 4 が点滅します。(選択されている番号は点滅しません。) Hide Me を押すと点滅が消えます。



・ **Discovery Read Only** : Read Only に設定されているときには、切替機の IP アドレスなどの設定状況を Syner-G で確認することができますが、設定の変更は行えません。通常は Read/Write に設定してください。

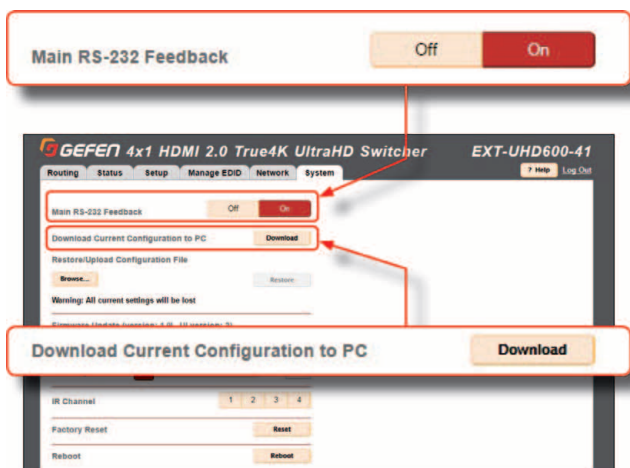
・ **Product Description** : Syner-G の操作画面に反映されます。複数台同一システムで使用する場合に、出荷時は EXT-UHD600-41 が設定されています。

● システム設定

システム設定では、本機にかかわる様々な機能を設定することができます。

▼ RS-232 フィードバック

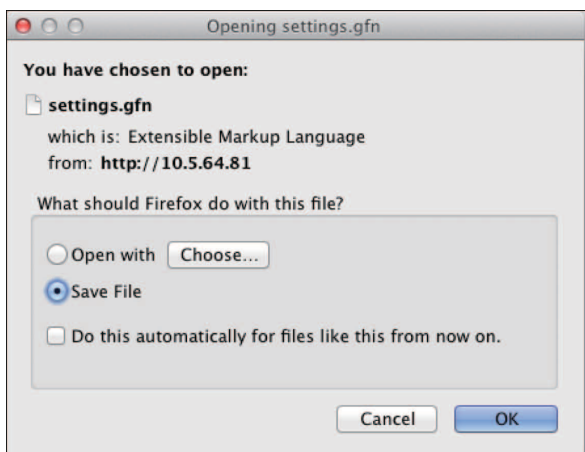
出荷時には有効になっています。 Off に設定するとフィードバックは無効になります。



▼ Download Current Configuration to PC

本機の設定をコンピューターへファイルとして保存することができます。

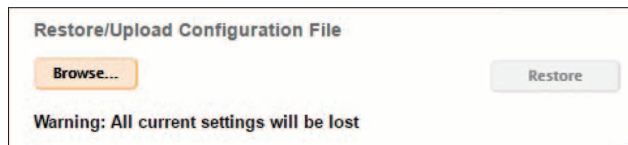
- ① Download ボタンをクリックします。
- ② コンピューターにより確認のダイアログが表示された場合は OK を押してください。



▼ Restore/Upload Configuration File

コンピューターに保存した本機の設定ファイルをアップロードし設定を反映させることができます。

- ① Browse をクリックします。

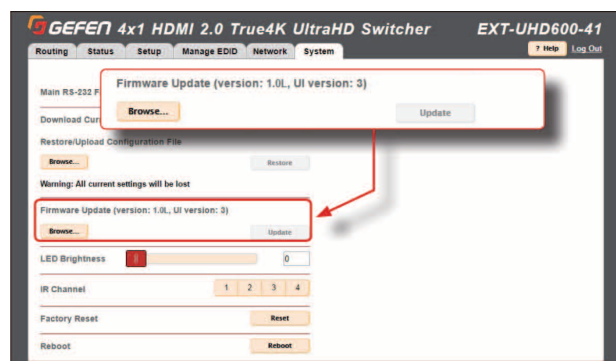


- ② 設定を反映したい、保存ファイルを選択します。
- ③ Restore ボタンをクリックします。

▼ Firmware Update

ファームウェアのアップデートを行います。

- ① 最新のファームウェアを GEFEN のウェブサイトよりダウンロードします。
- ② Browse ボタンをクリックします。

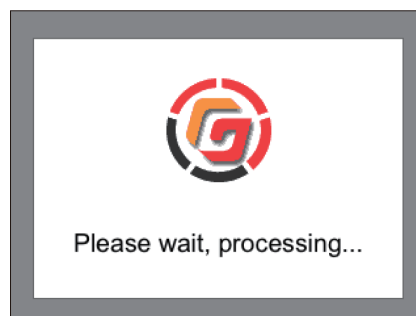


- ③ ダウンロードしたファームウェアファイルを選択します。
- ④ Update ボタンをクリックします。下記のようなメッセージが表示されます。

WARNING: Updating the firmware may overwrite some of your settings. Consider saving the configuration before updating the firmware. Are you sure you want to continue?

アップデートを続ける前に設定の保存を行う場合はキャンセルを押してください。

- ⑤ OK ボタンを押します。
- ⑥ しばらくすると下記のメッセージボックスが表示されます。

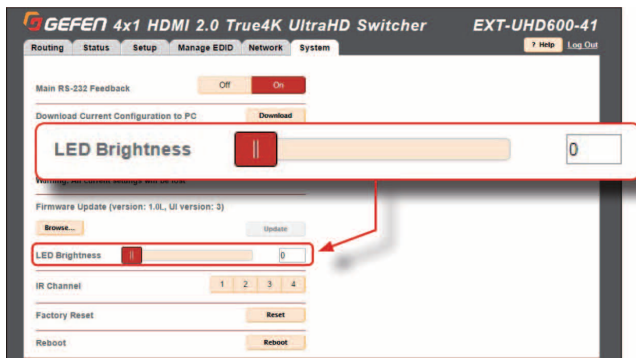


- ⑦ アップデートが終了すると自動的に再起動します。

▼LEDの明るさ調整

本体前面のLEDの明るさを調整することができます。

スライダーを動かして0～100の間で調整をすることができます。出荷時は50に設定されています。



▼IRチャンネルの設定

IRリモコンのチャンネルを変更した際に変更します。本体とIRリモコンのチャンネルを同じチャンネルに設定してください。

IRリモコンの設定と同じチャンネルをクリックしてください。自動的にセーブされます。

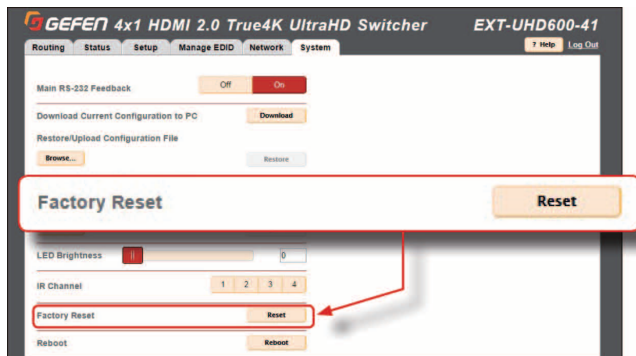


▼ファクトリーリセット

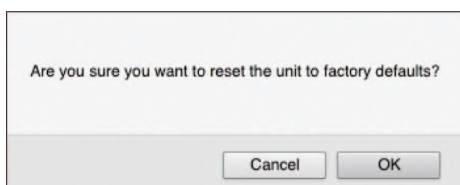
工場出荷時の状態に戻します。

⚠️ ファクトリーリセットを行うとすべての設定は初期化されます。

①Reset ボタンをクリックします。



②下記のメッセージが表示されます。

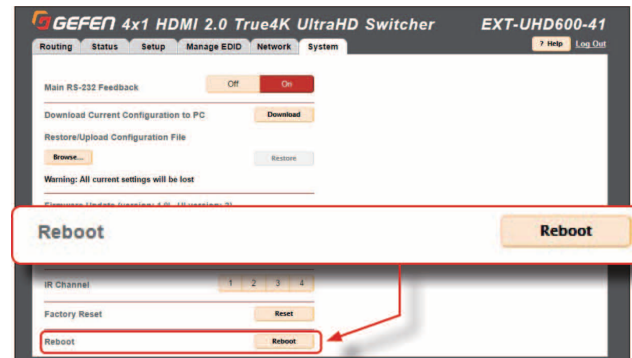


- ・OK：ファクトリーリセットが始まります。
- ・Cancel：ウェブインターフェイスへ戻ります。

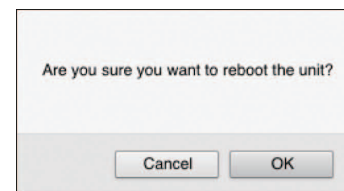
▼リブート

本体を再起動します。

①Reboot ボタンをクリックします。



②下記のメッセージが表示されます。



- ・OK：再起動が始まります。
- ・Cancel：ウェブインターフェイスへ戻ります。

Telnet、UDP、RS-232

● Telnet の構成

- 任意のターミナルアプリケーションを起動してください。
- ターミナルアプリケーションが正常に起動すると、下記のメッセージが表示されます。

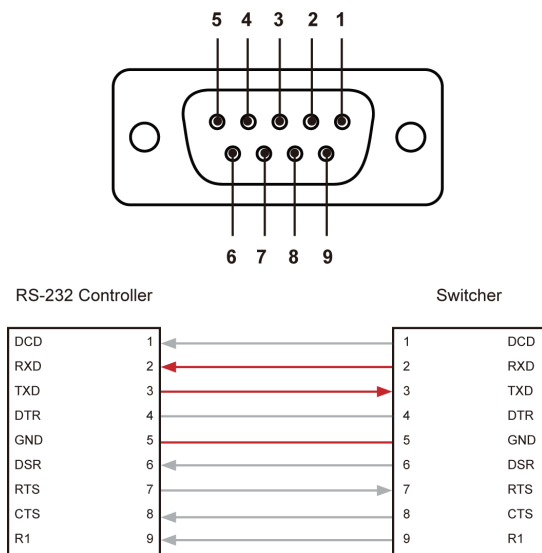
```
Welcome to EXT-UHD600-41 Telnet
telnet->
```
- コマンドリストを確認するにはターミナルアプリケーションへ「#help」を入力するか、右ページのコマンドリストを参照してください。

● UDP の構成

- 任意のコントロールアプリケーションを起動してください。
- ウェブインターフェイスの Network タブをクリックしてください。
 - Enable をクリックしてください。
 - UDP Port フィールドへポート番号を入力します。出荷時は 50007 が入力されています。
 - スイッチャーへフィードバックが必要な場合には、Remote UDP Access の Enable をクリックします。
 - Remote UDP Access を使用する場合には、UDP IP アドレスを Remote UDP Address フィールドに入力してください。出荷時は 192.168.1.255 が入力してください。
 - Remote UDP Port フィールドへポート番号を入力します。出荷時は 50008 が入力されています。
 - Save をクリックします。

● RS-232 の構成

- 任意の COM ポートを設定してください。
- 下記の設定を行ってください。



- RS-232 コントロールデバイスと本体を接続してください。

項目	設定
ボーレート	19200
データビット	8
パリティ	なし
ストップビット	1
ハードウェア・フロー・コントロール	なし

- コマンドリストを確認するにはターミナルアプリケーションへ「#help」を入力するか、右ページのコマンドリストを参照してください。

■ コマンド

Discovery Service

コマンド	説明	ページ
#get_device_desc	機器の説明を表示します。	p.15
#get_discovery	現在の Discovery 機能の設定状態を表示します。	p.15
#get_discovery_mode	Discovery Read/Write モードを表示します。	p.15
#get_showme	「Show Me」機能の設定状態を表示します。	p.15
#set_device_desc	機器の説明文を設定します。	p.15
#set_discovery	ディスクバリ機能を有効 / 無効にします。	p.15
#set_discovery_mode	Discovery Read/Write モードを設定します。	p.16
#set_showme	「Show Me」機能を有効 / 無効にします。	p.16

Help

#help	有効なコマンドリストを表示します。	p.16
-------	-------------------	------

Input Status

#gets_input_hdcp	指定した入力の HDCP の状態を表示します。	p.16
#gets_input_hpd	指定した入力の HPD の状態を表示します。	p.16
#gets_input_mode	指定した入力の入力の状態を表示します。	p.16
#gets_input_signal	指定した入力の入力信号の状態を表示します。	p.16

Manage EDID

#get_ds_edid	ダウンストリーム EDID をダウンロードします。	p.16
#get_deid_mode	指定した入力の EDID モードを表示します。	p.16
#get_ext_edid	外部 EDID をダウンロードします。	p.16
#get_preset_edid	指定したプリセット EDID をダウンロードできます。	p.16
#set_edid_copy	カスタム EDID を指定の入力にコピーします。	p.17
#set_edid_lock	指定した入力の EDID コピーの有効無効を設定します。	p.17
#set_edid_mode	EDID モードを設定します。	p.17

Network

#get_gateway	ゲートウェイのアドレスを表示します。	p.17
#get_http_port	HTTP 通信ポートを表示します。	p.17
#get_ip_address	IP アドレスを表示します。	p.17
#get_ip_mode	現在の IP モードを表示します。	p.17
#get_ipconfig	IP 構成を表示します。	p.17
#get_mac_addr	MAC アドレスを表示します。	p.17
#get_netmask	サブネットマスクのアドレスを表示します。	p.17
#get_remote_udp_access	リモート UDP アクセスのステータスを表示します。	p.17
#get_remote_udp_ip	リモート UDP IP アドレスを表示します。	p.17
#get_remote_udp_port	リモート UDP 通信ポートを表示します。	p.17
#get_telnet_access	Telnet アクセスのステータスを表示します。	p.18
#get_telnet_port	Telnet 通信ポートを表示します。	p.18
#get_telnet_welcome	Telnet ウェルカム画面のステータスを表示します。	p.18
#get_udp_access	UDP アクセスのステータスを表示します。	p.18
#get_udp_port	UDP ポートの設定を表示します。	p.18
#set_gateway	ゲートウェイのアドレスを設定します。	p.18
#set_http_port	HTTP 通信ポートを設定します。	p.18
#set_ip_address	IP アドレスを設定します。	p.18
#set_ip_mode	IP モードを設定します。	p.18

#set_netmask	サブネットマスクのアドレスを設定します。	p.18
#set_remote_udp_access	リモート UDP アクセスのステータスを設定します。	p.18
#set_remote_udp_ip	リモート UDP IP アドレスを設定します。	p.18
#set_remote_udp_port	リモート UDP 通信ポートを設定します。	p.18
#set_telnet_access	Telnet アクセスのステータスを設定します。	p.18
#set_telnet_port	Telnet 通信ポートを設定します。	p.19
#set_telnet_welcome	Telnet ウェルカム画面のステータスを設定します。	p.19
#set_udp_access	UDP アクセスのステータスを設定します。	p.19
#set_udp_port	UDP ポートの設定を設定します。	p.19
#use_telnet_login	Telnet の証明書の有効・無効を設定します。	p.19

Output Status

#gets_output_hdcp	HDCP の設定状態を表示します。	p.19
#gets_output_hpd	HPD の設定状態を表示します。	p.19
#gets_output_rsense	解像度の設定状態を表示します。	p.19

Routing

#get_auto_switch	オートスイッチング設定の状態を表示します。	p.19
#lock_matrix	本体のロック・アンロックの設定をします。	p.19
#set_auto_switch	オートスイッチング機能の設定をします。	p.19
r	指定した入力の切替操作を行います。	p.19

System Settings

#factory_reset	工場出荷時の状態へ戻します。	p.19
#get_feedback	RS-232 のフェードバック設定の状態を表示します。	p.19
#get_ir_channel	IR チャンネルの設定状態を表示します。	p.19
#get_led_brightness	LED の明るさの設定状態を表示します。	p.20
#reboot	本体を再起動します。	p.20
#set_feedback	RS-232 のフェードバック設定をします。	p.20
#set_ir_channel	IR チャンネルの設定をします。	p.20
#set_led_brightness	LED の明るさの設定をします。	p.20
#show_firmware_version	ファームウェアのバージョンを確認します。	p.20

● #get_device_desc

機器の名称を表示します。

構文.....#get_device_desc

パラメーター.....なし

構文例.....#get_device_desc

DEVICE DESCRIPTION IS EXT-UHD600-41

● #get_discovery

現在の Discovery 機能の設定状態を下記の番号で表示します。

0 : 無効

1 : 有効

構文.....#get_discovery

パラメーター.....なし

構文例.....#get_discovery

DISCOVERY 1

● #get_discovery_mode

Discovery Read/Write モードの状態を下記の番号で表示します。

0 : 無効

1 : 有効

構文.....#get_discovery_mode

パラメーター.....なし

構文例.....#get_discovery_mode

#get_discovery_mode 1

● #get_showme

「Show Me」機能の設定状態を下記の番号で表示します。

※ Show me 機能を使用している場合にのみ 1 : 有効が表示されます。

0 : 無効

1 : 有効

構文.....#get_showme

パラメーター.....なし

構文例.....#get_showme

#get_showme 1

● #set_device_desc

機器の名称等を任意に設定します。

構文.....#set_device_desc name

パラメーター.....name

本体の説明（名称等）を入力します。英数字で 30 文字まで入力可能です。

構文例.....#set_device_desc switcher202

DEVICE DESCRIPTION IS SET TO switcher202

● #set_discovery

ディスカバリー機能の有効 / 無効を設定します。

構文.....#set_discovery state

パラメーター.....state :

0 : 無効

1 : 有効

構文例.....#set_discovery 0

DISCOVERY 0

● #set_discovery_mode

Discovery の Read/Write モードを設定します。

構文.....#set_discovery mode
 パラメーター.....mode:
 0 : 無効
 1 : 有効
 構文例.....#set_discovery_mode 0
 DISCOVERY MODE 0

● #set_showme

「Show Me」機能を有効 / 無効にします。

構文.....#set_showme state
 パラメーター.....state:
 0 : 無効
 1 : 有効
 構文例.....#set_showme 1
 SET_SHOWME 1

● #help

有効なコマンドリスト一覧を表示します。

構文.....#help
 パラメーター.....なし
 構文例.....#help

● #gets_input_hdcp

指定した入力へ設定されている HDCP の状態が下記の 0 ~ 2 の数字で表示されます。

0 : Reject
 1 : HDCP2.2
 2 : HDCP1.4

構文.....#gets_input_hdcp input
 パラメーター.....input : HDMI 入力端子の番号 1 ~ 4 を入力します。
 構文例.....#get_input_hdcp 1
 INPUT_HDCP 1 0

● #gets_input_hpd

指定した入力の HPD の状態が下記の 0 ~ 1 の数字で表示されます。

0 : HPD low
 1 : HPD high

構文.....#gets_input_hpd input
 パラメーター.....input : HDMI 入力端子の番号 1 ~ 4 を入力します。
 構文例.....#get_input_hpd 1
 INPUT_HPD 1 0

● #gets_input_mode

指定した入力の入力信号形式を表示します。

D : DVI 信号が入力されています。
 H : HDMI 信号が入力されています。

構文.....#gets_input_mode inputs
 パラメーター.....input:
 HDMI 入力端子の番号 1 ~ 4 を入力します。
 0 を入力するとすべての入力端子の状態が表示されます。
 構文例.....#gets_input_mode 1
 INPUT_MODE 1 H
 #get_input_mode 0
 INPUT_MODE 0 H H D H

● #gets_input_signal

指定した入力の入力状態を表示します。

N : 信号が検出できません。
 Y : 信号を検出しています。

構文.....#gets_input_signal inputs
 パラメーター.....input:
 HDMI 入力端子の番号 1 ~ 4 を入力します。
 0 を入力するとすべての入力端子の状態が表示されます。
 構文例.....#gets_input_signal 0
 INPUT_SIGNAL 0 Y Y Y Y
 #gets_input_signal 1
 INPUT_SIGNAL 1 Y

● #get_ds_edid

入力に送られているダウンストリーム EDID を表示します。

構文.....#gets_ds_edid input
 パラメーター.....input : HDMI 入力端子の番号 1 ~ 4 を入力します。
 構文例.....#gets_ds_edid 1
 00FFFFFFFFFFFF00042100000000000000...

● #get_edid_mode

指定した入力の現在設定されている EDID が下記の 1 ~ 8 の数字で表示されます。

1 : Internal Mode - UHD 600 4K 2 Channel
 2 : Internal Mode - UHD 600 4K Multichannel
 3 : Internal Mode - UHD 300 4K 2 Channel
 4 : Internal Mode - UHD 300 4K Multichannel
 5 : Internal Mode - 1080p 2 Channel
 6 : Internal Mode - 1080p Multichannel
 7 : Custom Mode - User
 8 : External

構文.....#get_edid_mode input
 パラメーター.....input
 HDMI 入力端子の番号 1 ~ 4 を入力します。
 構文例.....#get_edid_mode 1
 #get_edid_mode 1 0

● #get_ext_edid

接続されている表示機器等の EDID を表示します。

構文.....#get_ext_edid input
 パラメーター.....input
 HDMI 入力端子の番号 1 ~ 4 を入力します。
 構文例.....#gets_ext_edid 1
 00FFFFFFFFFFFF00042100000000000000...

● #get_preset_edid

指定した内蔵 EDID の情報を表示できます。

構文.....#get_preset_edid edid
 パラメーター.....edid
 下記の 1 ~ 6 の番号を入力します。
 1 : Internal Mode - UHD 600 4K 2Ch
 2 : Internal Mode - UHD 600 4K Multichannel
 3 : Custom Mode - UHD 300 4K 2Ch
 4 : Custom Mode - UHD 300 4K Multichannel
 5 : Custom Mode - 1080p 2Ch
 6 : Custom Mode - 1080p Multichannel
 構文例.....#get_preset_edid 1
 00FFFFFFFFFFFF00042100000000000000...

● #set_edid_copy

EDID を指定の入力へ設定します。

構文.....#set_edid_copy edid
パラメーター.....edid

下記の 1 ~ 6 の番号を入力します。

- 1 : Internal Mode - UHD 600 4K 2 Channel
- 2 : Internal Mode - UHD 600 4K Multichannel
- 3 : Custom Mode - UHD 300 4K 2 Channel
- 4 : Custom Mode - UHD 300 4K Multichannel
- 5 : Custom Mode - 1080p 2 Channel
- 6 : Custom Mode - 1080p Multichannel
- 7 : External

構文例.....#set_edid_copy 1
COPY_COMPLETE

● #set_edid_lock

指定した入力の EDID の上書きの有効無効を設定します。

構文.....#set_edid_lock input state
パラメーター.....input :

HDMI 入力端子の番号 1 ~ 4 を入力します。

- state :
- 0 : アンロック
 - 1 : ロック

構文例.....#set_edid_lock 1 0
EDID_LOCK 1 0

● #set_edid_mode

EDID モードを設定します。

構文.....#set_edid_mode edid
パラメーター.....edid

- 1 : Internal Mode - UHD 600 4K 2 Channel
- 2 : Internal Mode - UHD 600 4K Multichannel
- 3 : Custom Mode - UHD 300 4K 2 Channel
- 4 : Custom Mode - UHD 300 4K Multichannel
- 5 : Custom Mode - 1080p 2 Channel
- 6 : Custom Mode - 1080p Multichannel
- 7 : Custom Mode - User
- 8 : External

構文例.....#set_edid_mode 1
EDID_MODE 1

● #get_gateway

現在設定されているゲートウェイアドレスを表示します。

構文.....#get_gateway
パラメーター.....なし

構文例.....#get_gateway
GATEWAY 10.5.64.1

● #get_http_port

現在設定されている HTTP 通信ポートの番号を表示します。

構文.....#get_http_port
パラメーター.....なし

構文例.....#get_http_port
HTTP_PORT 80

● #get_ip_address

現在設定されている IP アドレスを表示します。

構文.....#get_ip_address
パラメーター.....なし

構文例.....#get_ip_address
IP_ADDRESS 10.5.64.81

● #get_ip_mode

現在の IP モードを下記の数字で表示します。

- 0 : Static(静的)
- 1 : DHCP

構文.....#get_ip_mode
パラメーター.....なし

構文例.....#get_ip_mode
IP_MODE 0

● #get_ipconfig

現在の IP 構成を表示します。 IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、MAC アドレスが表示されます。

構文.....#get_ipconfig
パラメーター.....なし

構文例.....#get_ipconfig
IP CONFIGURATION IS :
IP: 10.5.64.81
NETMASK: 255.255.255.0
GATEWAY: 10.5.64.1
MAC ADDRESS: 00:1C:91:04:90:03

● #get_mac_addr

本機の MAC アドレスを表示します。

構文.....#get_mac_addr
パラメーター.....なし

構文例.....#get_mac_addr
MAC ADDRESS IS: 00:xx:9x:04:xx:03

● #get_netmask

現在設定されているサブネットマスクのアドレスを表示します。

構文.....#get_netmask
パラメーター.....なし

構文例.....#get_netmask
NETMASK 255.255.255.0

● #get_remote_udp_access

現在設定されているリモート UDP アクセスの設定状態を下記の数字で表示します。

- 0 : 無効
- 1 : 有効

構文.....#get_remote_udp_access
パラメーター.....なし

構文例.....#get_remote_udp_access
REMOTE_UDP_ACCESS 0

● #get_remote_udp_ip

現在設定されているリモート UDP IP アドレスを表示します。

構文.....#get_remote_udp_ip
パラメーター.....なし

構文例.....#get_remote_udp_access
REMOTE_UDP_IP 192.168.1.255

● #get_remote_udp_port

現在設定されているリモート UDP 通信ポートの番号を表示します。

構文.....#get_remote_udp_port
パラメーター.....なし

構文例.....#get_remote_udp_port
REMOTE_UDP_PORT 50008

● #get_telnet_access

現在設定されている Telnet アクセスの設定状態を表示します。

構文.....#get_telnet_access
パラメーター.....なし
構文例.....#get_telnet_access
 TELNET_ACCESS 1

● #get_telnet_port

Telnet ポートの番号を表示します。

構文.....#get_telnet_port
パラメーター.....なし
構文例.....#get_telnet_port
 TELNET_PORT 23

● #get_telnet_welcome

Telnet 使用時のウェルカム画面の設定状態を表示します。

構文.....#get_telnet_welcome
パラメーター.....なし
構文例.....#get_telnet_welcome
 TELNET_WELCOME_SCREEN_IS_ENABLED

● #get_udp_access

UDP アクセスの設定状態を下記の数字で表示します。

0 : 無効
1 : 有効

構文.....#get_udp_access
パラメーター.....なし
構文例.....#get_udp_access
 UDP_ACCESS 0

● #get_udp_port

UDP ポートの番号を表示します。

構文.....#get_udp_port
パラメーター.....なし
構文例.....#get_udp_port
 UDP_PORT 50007

● #set_gateway

ゲートウェイアドレスを設定します。Static モードの際に変更することができます。

構文.....#set_gateway addr
パラメーター.....addr
 アドレスを入力します。
構文例.....#set_gateway 10.5.64.1
 GATEWAY 10.5.64.1
 REBOOT TO APPLY SETTINGS

● #set_http_port

HTTP ポートの設定を行います。

構文.....#set_http port
パラメーター.....port
 設定するポート番号を入力します。
構文例.....#set_http_port 80
 HTTP_PORT 80

● #set_ip_address

IP アドレスの設定を行います。

構文.....#set_ip_address addr
パラメーター.....addr : IP アドレスを入力します。
構文例.....#set_ip_address 10.5.64.81
 IP_ADDRESS 10.5.64.81
 REBOOT TO APPLY SETTINGS

● #set_ip_mode

IP モードを設定します。

構文.....#set_ip_mode mode
パラメーター.....mode :
 0 : Static
 1 : DHCP
 2 : Auto
構文例.....#set_ip_mode 1
 IP MODE 1
 REBOOT TO APPLY SETTINGS

● #set_netmask

サブネットマスクの設定を行います。

構文.....#set_netmask addr
パラメーター.....addr : アドレスを入力します。
構文例.....#set_netmask 255.255.255.0
 NETMASK 255.255.255.0
 REBOOT TO APPLY SETTINGS

● #set_remote_udp_access

UDP アクセスの有効・無効の設定を行います。

構文.....#set_remote_udp_access state
パラメーター.....state :
 0 : 無効
 1 : 有効
構文例.....#set_remote_udp_access 0
 REMOTE_UDP_ACCESS 0

● #set_remote_udp_ip

UDP IP アドレスを入力します。

構文.....#set_remote_udp_ip addr
パラメーター.....addr : UDP IP アドレスを入力します。
構文例.....#set_remote_udp_ip 192.168.1.251
 REMOTE_UDP_IP 192.168.1.251

● #set_remote_udp_port

UDP ポートを設定します。

構文.....#set_remote_udp_port port
パラメーター.....port : UDP ポートの番号 (0 ~ 65535) を入力します。
構文例.....#set_remote_udp_port 50008
 REMOTE_UDP_PORT 50008

● #set_telnet_access

Telnet アクセスの有効無効を設定します。

構文.....#set_telnet_access state
パラメーター.....state :
 0 : 無効
 1 : 有効
構文例.....#set_telnet_access 1
 TELNET_ACCESS 1

● #set_telnet_port

Telnet ポートを設定します。

構文.....#set_telnet_port port
 パラメーター.....port:
 Telnet ポートの番号 (0 ~ 65535) を入力します。
 構文例.....#set_telnet_port 23
 TELNET_PORT 23

● #set_telnet_welcome

Telnet 起動時のウェルカムメッセージの有効無効を設定します。

構文.....#set_telnet_welcome state
 パラメーター.....state:
 0 : 無効
 1 : 有効
 構文例.....#set_telnet_welcome 1
 TELNET WELCOME SCREEN IS ENABLED

● #set_udp_access

UDP アクセスの有効無効を設定します。

構文.....#set_udp_access state
 パラメーター.....state:
 0 : 無効
 1 : 有効
 構文例.....#set_udp_access 0
 UDP_ACCESS 0

● #set_udp_port

UDP ポートの番号を設定します。

構文.....#set_udp_port port
 パラメーター.....port: Telnet ポートの番号 (0 ~ 65535) を入力します。
 構文例.....#set_udp_port 50007
 UDP_PORT 50007

● #use_telnet_login

Telnet 使用時のログイン証明書の有効無効を設定します。

構文.....#use_telnet_login state
 パラメーター.....state:
 0 : 無効
 1 : 有効
 構文例.....#use_telnet_login 0
 USE_TELNET_LOGIN 0

● #gets_output_hdcp

出力の HDCP の状態を確認します。

A : 正常
 B : 暗号化されていない
 F : エラー

構文.....#get_output_hdcp
 パラメーター.....なし
 構文例.....#get_output_hdcp
 OUTPUT_HDCP A

● #gets_output_hpd

出力の HPD の状態を確認します。

L : HPD low
 H : HPD high

構文.....#get_output_hpd
 パラメーター.....なし
 構文例.....#get_output_hpd
 OUTPUT_HPD H

● #get_auto_switch

オートスイッチング機能の設定状態を確認します。

0 : 無効
 1 : 有効
 構文.....#get_auto_switch
 パラメーター.....なし
 構文例.....#get_auto_switch
 AUTO_SWITCH

● #lock_matrix

本体のロック、アンロックを設定します。フロントパネルやウェブインターフェイスからの誤操作を防ぐことができます。

構文.....#lock_matrix state
 パラメーター.....state:
 0 : アンロック
 1 : ロック
 構文例.....#lock_matrix 1
 LOCK_MATRIX 1

● #set_auto_switch

自動切り替え機能の有効無効を設定します。

構文.....#set_auto_switch state
 パラメーター.....state:
 0 : 無効
 1 : 有効
 構文例.....#set_auto_switch 0
 AUTO_SWITCH 0

● r

切替え操作を行います。

構文.....r input
 パラメーター.....input : 1 ~ 4 の入力を指定します。OFF を指定します。
 構文例.....r 1
 r off

● #factory_reset

全ての設定を工場出荷時の状態へ戻します。

構文.....#factory_reset
 パラメーター.....なし
 構文例.....#factory_reset
 RESET TO FACTORY DEFAULTS

● #get_feedback

RS-232 のフィードバックの設定を行います。

構文.....#get_feedback
 パラメーター.....なし
 構文例.....#get_feedback
 FEEDBACK 1

● #get_ir_channel

設定されている IR チャンネルを確認します。

構文.....#get_ir_channel
 パラメーター.....なし
 構文例.....#get_ir_channel
 IR_CHANNEL 1

● #get_led_brightness

LEDのブライツネス値を確認します。

```
構文.....#get_led_brightness
パラメーター.....なし
構文例.....#get_led_brightness
                LED_BRIGHTNESS 60
```

● #reboot

本体を再起動します。

```
構文.....#reboot
パラメーター.....なし
構文例.....#reboot
                UNIT WILL REBOOT SHORTLY
```

● #set_feedback

RS-232のフィードバックの設定を行います。

```
構文.....#set_feedback state
パラメーター.....state:
                0:無効
                1:有効
構文例.....#set_feedback 1
                FEEDBACK 1
```

● #set_ir_channel

IRチャンネルの設定を行います。IRリモコンと同一のチャンネルに設定してください。

```
構文.....#set_ir_channel irch
パラメーター.....irch:
                1:IRチャンネル1
                2:IRチャンネル2
                3:IRチャンネル3
                4:IRチャンネル4
構文例.....#set_ir_channel 2
                IR_CHANNEL 2
```

● #set_led_brightness

LEDのブライツネスレベルの設定を行います。

```
構文.....#set_led_brightness level
パラメーター.....level:0~100の間の値を入力します。
構文例.....#set_led_brightness 75
                LED_BRIGHTNESS 75
```

● #show_firmware_version

ファームウェアのバージョンを確認します。

```
構文.....#show_firmware_version
パラメーター.....level:なし
構文例.....#show_firmware_version
                FIRMWARE VERSION IS 1.0
```

付録

仕様

対応解像度 (最大)	・ 4K DCI-Cinema (4069x2160 60Hz 4:4:4 Color Space) ・ 4K Ultra HD (3840x2160 60Hz 4:4:4 Color Space) ・ 1080p フルHD ・ 1920x1200 WUXGA ・ 3840x2160 60Hz (4:2:0)
対応音声形式	・ LPCM 7.1 ・ Dolby Atmos、Dolby True HD ・ DTS:X、DTS-HD Master Audio
HDMI 入力・出力端子	HDMI TypeA 19Pin メス
RS-232	DB-9
Power インジケータ	LED 青
IP コントロール	RJ-45
IR In/Ext	3.5mm ミニステレオ
Power インジケータ	LED 青
入力インジケータ	LED 緑・アンバー
出力インジケータ	LED 緑
電源端子	ロック式
最大ピクセルクロック	600MHz
入力電圧	5 V
消費電力	7 W
動作保証温度	0 ~ 50℃
動作保証湿度	5% ~ 90% 結露なきこと
保存温度	-20 ~ 85℃
保存湿度	0% ~ 95% 結露なきこと
HDMI 供給電力	5V 500Ma (最大)
MTBF	30000時間
寸法・質量	W213xH25xD93mm、約 300g

- この製品を安全にお使いいただくために、設置・運用には十分な安全対策を行ってください。
- この取扱説明書に記載されている商品名、会社名等は各社の登録商標または商標です。
- 仕様および外観は予告なく変更されることがありますのでご了承ください。